

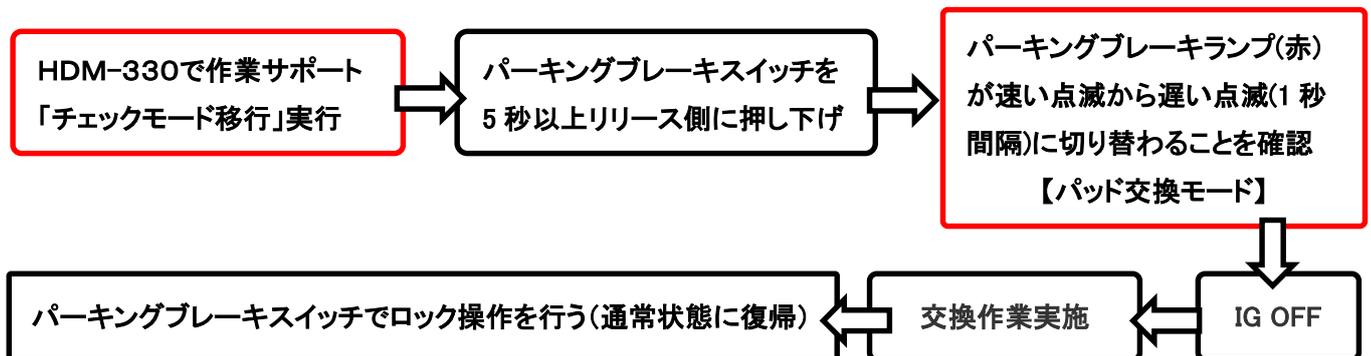
日立ダイアグノスティックツールHDM-8000操作ガイド
トヨタ/アルファード・ヴェルファイアHV (AGH/GGH/AYH3#)/リアブレーキパッド交換モード

注意事項/必ずお読みください

- 実際の作業に当たっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で作業手順、作業上の注意点をご参照の上、作業を行って下さい。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更される為、本資料に掲載する機能が使用できない場合がございます。

1. リアブレーキパッド交換作業の流れ/アルファード・ヴェルファイアHVの場合

- アルファード/ヴェルファイア(電動パーキングブレーキ装着車)のリアブレーキパッドやディスクロータを交換する場合、ディスクブレーキシリンダ ASSY RR 内部にあるナットが前進しているため、ナットをシリンダ内側へ戻す必要がございます。
- HDM8000の作業サポート「チェックモード移行」を実行後、車両のパーキングブレーキを操作して「パッド交換モード」に移行させると上述のナットをシリンダ内側へ戻すことが可能です。



(操作手順は2/5ページ以降を参照ください)

2.HDM-8000操作手順(作業要領も含む)

以下の手順で「パッド交換モード」への移行を行います。

【手順001/車両へのHDM-8000の接続と起動】

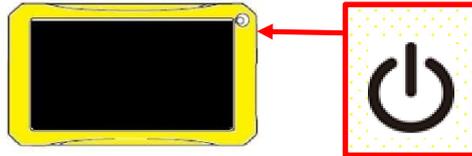
①HDM-8000のインターフェースボックスを車両側の診断コネクタに接続して下さい。



②HDM-8000のインターフェースボックス本体側LEDが緑色に点灯していることを確認して下さい。



③HDM-8000のタブレット本体の右側面にある電源スイッチを押して、タブレットを起動して下さい。



④タブレットが起動したら画面上のカギのマーク  に指を当てて右側にスライドさせて、画面ロックを解除して下さい。

⑤タブレットとインターフェースボックスが無線(Wi-Fi/ワイファイ)で接続されているか確認を行います。まず、「車両一覧」画面が表示されましたら画面右上に指を当てて、そのまま下におろして「クイック設定ツール」を表示して下さい。



⑥「クイック設定ツール」内にあるWi-Fi(ワイファイ)のアイコンが右図の様に色が反転した状態で表示され、その下にHDM8000のインターフェースボックスのシリアル番号(右図の破線で囲われた文字列)が表示されていれば無線での接続がされております。次の【手順002】に進みます。



【手順002/クイック設定ツールの終了】

「クイック設定ツール」の下端部に指を当てたまま上方に上げて「クイック設定ツール」を終了して下さい。



(次ページに続きます)

【手順003/車両側のイグニッションキーON】

IGキースイッチをONにしてください。(手順004に進みます)

【手順004/「故障診断」のタップ】

① タブレットの「車両情報」の欄(赤の破線で囲われた部分が空欄であることを確認して下さい)。(※1、※2)



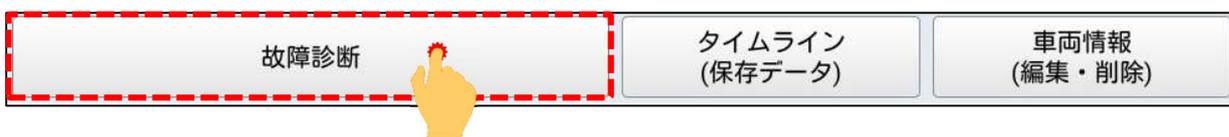
※:「車両情報」の欄に作業中の車両と異なる車両の情報が表示されている場合は画面下部の「戻る」
 ボタンをタップすると空欄になります。

② 画面上部の「故障診断」ボタンをタップして下さい(【手順005に進みます】)。

【アプリ設定をフル機能モードに設定している場合】



【アプリ設定を故障診断モードに設定している場合】



【手順005メーカー選択】

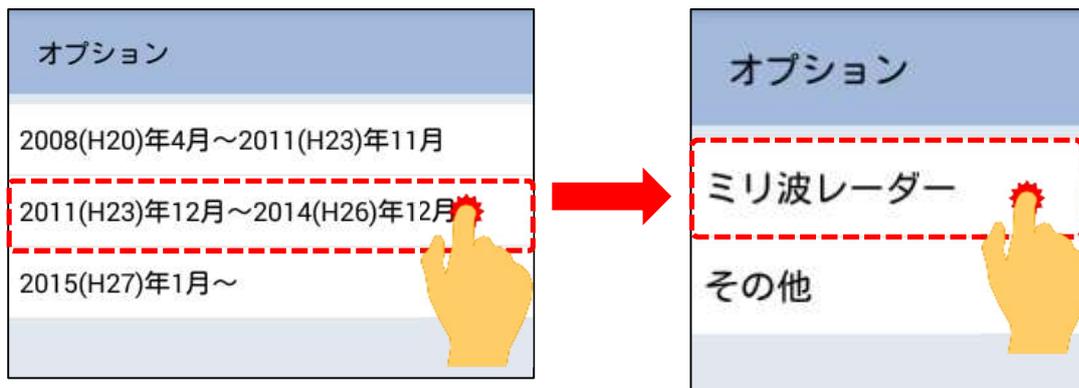
画面に「接続中...しばらくお待ちください」が表示されたあと「メーカー選択(診断ソフトの選択画面)」が表示されます。「トヨタ/レクサス」をタップして下さい。



(次ページに続きます)

【手順006/オプション(年式と装備)の選択】

画面にソフト名の表示から「イニシャライズ中…」と切り替わり、その後、「オプション」の画面が表示されます。入庫車両に該当する年式、装備をタップして選択してください。【手順007】に進みます。



【手順007オプション(年式と装備)の選択】

「トヨタメインメニュー」が表示されましたら「作業サポート」をタップしてください。
「車両システム確認中…しばらくお待ちください」と表示され、作業サポート機能の対象システムの確認が実行されます。
【手順008】に進みます。



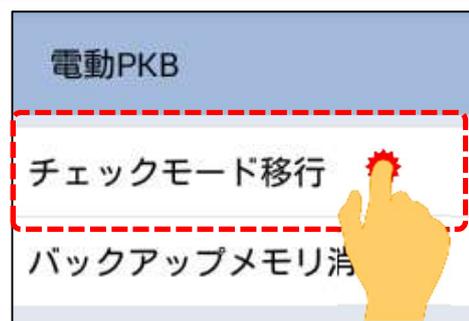
【手順008/電動PKBの選択】

「作業サポート」が表示されましたら、対象システム一覧のなかから「電動PKB」をタップしてください。



【手順009/チェックモード移行の選択】

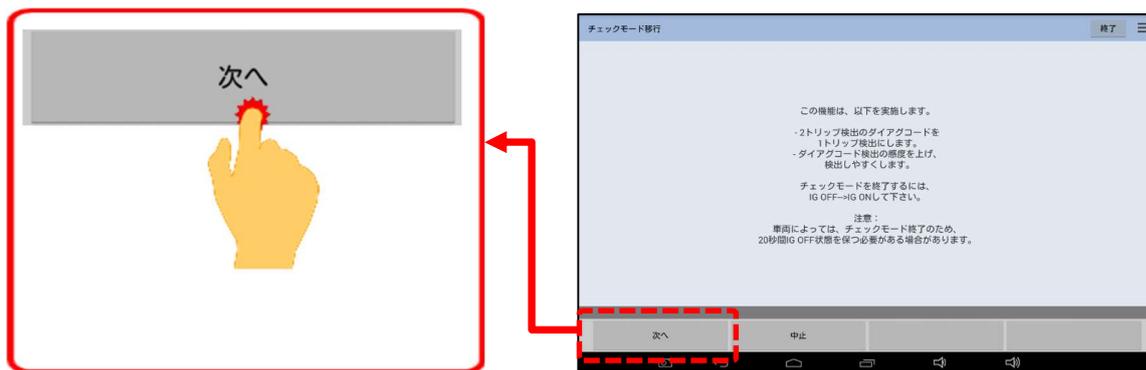
「電動PKB」の作業サポート一覧が表示されましたら「チェックモード移行」をタップしてください。



(次ページに続きます)

【手順010/チェックモード移行の実行】

「チェックモード移行」の画面が表示されましたら画面左下の「次へ」をタップしてください。車両側がチェックモードに移行し、画面が「電動PKB」(手順009の画面)に戻ります。



【手順006:パッド交換モードへの移行】

下記①～⑥を行ってください。

- ① エレクトリックパーキングブレーキスイッチ ASSY(コンビネーションスイッチ ASSY)を 5 秒以上リリース側に押し下げてください。
- ② パーキングブレーキランプ(赤)が点滅(0.25 秒間隔)することを確認してください。
- ③ しばらくするとパーキングブレーキアクチュエータ ASSY が作動します(パーキングブレーキロック状態から操作すると、作動後一度パーキングブレーキアクチュエータ ASSY のモータが停止し、再度作動を開始します)
- ④ パーキングブレーキランプ(赤)が遅い点滅(1 秒間隔)に切り替わることを確認してください(ナットがシリンダ内側へ戻され、パッド交換モードになります)。
- ⑤ IG OFF にしてください
- ⑥ 車両側診断コネクタからHDM8000のインターフェースボックスを取り外してください。

【手順007:交換作業の実施/注意事項】

下記①～③をご留意の上、交換作業を行ってください。

- ① パーキングブレーキ操作を行うと通常状態に戻ってしまうため、**作業が終了するまでパーキングブレーキ操作は行わないこと。**
- ② 作業時(リヤブレーキパッド交換等)は、パーキングブレーキが作動してリヤディスクブレーキピストンが脱落する恐れがあるため、**絶対にエレクトリックパーキングブレーキスイッチ ASSY(コンビネーションスイッチ ASSY)操作および IG ON にしてシフトレバー操作を行わない。**または、パーキングブレーキアクチュエータ ASSY のコネクタを切り離すか、補機バッテリーマイナスターミナルを切り離して作業を行う。
- ③ ダイアグコード C13A7/43 を検出した場合は、ダイアグコードを消去する。

【手順008:交換作業完了後の通常状態への復帰】

作業(リヤブレーキパッド交換等)が終了しましたら、エレクトリックパーキングブレーキスイッチ ASSY(コンビネーションスイッチ ASSY)でロック操作を行い、通常状態に復帰させてください。(完了)